



椎の木

令和3年5月6日発行 第2号

朝霞市立朝霞第八小学校
〒351-0012 朝霞市栄町5-1-41
TEL: 048-465-8381
FAX: 048-467-4739
文責: 校長 唐松 善人

【目指す児童像】 かしこく・やさしく・たくましく



270度の世界

埼玉県や隣接する東京都では、依然として新型コロナウイルス感染症が終息したとはいえない厳しい状況にあります。本校といたしましては、引き続き児童の安全・健康を最優先として、感染予防の観点から様々な対策を実施してまいりたいと考えます。そのため、感染状況等によっては、急に教育計画を変更せざるをえないこともありえます。保護者や地域の皆様方におかれましては、御理解・御協力をいただけますようお願い申し上げます。

さて、野球の話になりますが、ホームベースから試合が行われるグラウンドを見ると90度の世界が広がっています。この90度のグラウンドをどれだけ効果的に使うことができるのかは、野球の試合に勝つためには大切なことです。例えば、守備側では対戦チームの打者の特徴によって守備位置を変えたり、攻撃側では対戦チームの守備位置を頭に入れて走塁したりするなどの工夫を図ることにより試合を有利に進めることができます。

しかし、本当に大切なものは、360度から90度の世界を除いた残りの270度の世界にあると私は考えます。試合が行われている90度のグラウンド以外の270度の世界に何を見て、何を感じるのかが大切です。これまで指導をくださった監督、試合の応援に来てくださった方、朝早くからグラウンドの整備をくださった方、お弁当を作ってくくださった方、ユニホームやグローブを買うために働いてお金を稼いでくださった保護者の方。試合をしている90度のグラウンドの中にはその方たちの姿は見えません。しかし、この人たちの支えがあって野球の試合ができるということに感謝する心が何よりも大切であると私は考えます。

このことは、野球の世界だけではなく、児童が日々送っている学校生活にも当てはまることです。本校の児童は、楽しく学校生活を送り、心も身体も日々成長し続けています。しかし、その陰で多くの方々が児童の成長を支え続けてくださっていることを忘れてはなりません。

そして児童の成長を陰で支えてくださっている方々は、何かの見返りを求めて支えてくださっている訳ではありません。児童のことが大切だからこそ、無条件に、陰でそっと支え続けてくださっているのです。

私は校長として、本校の教育活動を支えてくださっている方々に深く感謝しております。そして同時に、本校の児童が卒業する際には、自分の成長を陰で支えてくださった方々に感謝することのできる心を育てたいと考えます。



八小の様子



【学級開き】

児童は、新しい学級で、新しい先生や新しい友達に出会いました。お互いのよさを認め合う心温かい学級にしていきたいと思います。



【自校給食開始】

新しい給食棟が完成するとともに、自校給食が開始されました。温かくておいしい給食が提供され、児童もとても喜んでいきます。



【四中との挨拶運動】

本校と隣接する朝霞第四中学校の生徒の皆さんが挨拶運動を行ってくれました。四中の生徒の皆さん、ありがとうございました。